

# 2022 年度 真貴幼稚園 学校評価（自己評価）

真貴幼稚園では、本園の教育理念、教育目標達成に向け、2022 年度の学校評価（自己評価）を実施しましたので、以下のとおりご報告します。

## 【自己評価】

- (1) 対象者 常勤教職員 24 名（在籍 26 名中 2 名は育児休暇取得中）
- (2) 実施日 2023 年 2 月 24 日
- (3) 実施方法 職員会議において、全教職員にセルフチェックシートを配付し、幼稚園の取組み状況や自分自身の取組み状況について評価を求めた。

【幼稚園の概要】 \* 真貴幼稚園のホームページ・園の概要でご確認ください。

## 1. 真貴幼稚園の教育目標

### 【めざす幼稚園】

子どもたちの限りない可能性を育み、その成長を保護者とともに感動することのできる幼稚園

自信を持って就学できる質の高い就学前教育を実践する幼稚園

### 【育てたい子ども】

☆ 自ら考え、自ら学び、自ら主張できる子

☆ 探究心があり、夢を持ち、アグレッシブに挑戦できる子

☆ 思いやりがあり、みんなをまとめてリードすることができる子

## 2. 2022 年度に定めた重点的に取り組む具体的な目標

2021 年度の活動状況を検証し、以下の 5 点の目標を設定した。

1. 知能教育『SI あそび』について、導入教材、発展教材の改善と、蓄積してきた真貴幼稚園独自の指導法を検証しつつ、教材達成率のアップをはかる。
2. 幼稚園と保護者が一緒になって子どもを育てることを目的とした「ご家庭への協力お願いシート」を更に定着させ、保護者への情報提供と連携を更に強化しつつ、協力体制強化の意識を高める。後期においては「がんばりシート」に発展させ、子ども達の更なるチャレンジ精神の喚起を図る。
3. 子どもに対して、優しいことば掛け、考えることば掛け、褒めて育てる教育の実践により、優しい心とコミュニケーション能力の育成をはかる。
4. 就学前教育の必要性とその背景等についての理解を全教員が深め、各学年における指導にも活かし、自信を持って就学できるように指導ノウハウを構築していく。
5. 保育研修等の年間での園内研修計画を整え、指導力向上、教育の質的向上に取り組むとともに、防災・防犯・緊急時対応・アレルギー対応等の園児の安全面についての研修も強化し、保育者としてのスキルを高める。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

以下のとおり、項目ごとに自己評価する。

評価項目と達成指標		結果	指標への取組状況
<b>1. 教育課程・指導</b>			
1-1	園の教育目標・方針に基づいて、教育課程が編成され、年間指導計画や週案・日案が作成されているか	A	幼稚園の教育目標・方針を明示し、それに基づき、年間指導計画や週案・日案を作成している。
1-2	幼稚園教育要領の内容を理解し、子どもの発達状況に即した指導が行われているか	A	各学年の発達状況に応じた指導となるよう、真貴式教育スタイルを活用し、毎年継続して改善を進めている。
1-3	真貴幼稚園の教育の特色を理解し、指導に活かしているか	B	真貴式教育スタイル、SIあそび、体育あそびの特色について日々の活動や研修を通じて理解を深めている。また、小学校に進学しても自分らしく自信を持って活動することができるよう、就学前教育の実践に取り組んでいる。
1-4	自ら考え、自主的・自立的に行動できる園児を育成するために、幼児に適した教育環境を構成し指導を行っているか	A	“探究”と“感動”をテーマとした真貴式教育スタイルを実践し、主体的、意欲的に活動できる園児の育成に努め、教育環境を構成するようにしている。
1-5	教育活動の進捗状況や子どもの姿について、教職員が情報共有できる場を設け、実践しているか	A	研究保育や毎日のミーティングを通じて、教育活動や子どもの姿についての情報を共有している。
1-6	園児の問題行動等について教職員が情報を共有し、適切に対処できているか	B	園児の問題行動については、その日のミーティングで共有し、対処法についても全員で確認し、適切に対処できるようにしている。
1-7	行事などが適切なねらいのもとで、管理・実施体制を整えて運営されているか	B	四季折々の行事を計画し、楽しく安全に実施できるよう工夫している。各行事は、指導計画・打合せを十分に行い、園外の行事は必ず下見を行うなど、安全には万全の注意を払っているが、新型コロナの影響で行き先は人混みを避け、実施回数を減らすこととなった。
1-8	基本的な生活習慣を身につけた園児を育成するために、保護者とも連携して指導に取り組んでいるか	A	生活習慣の定着・確立に向けて、園での様子を適宜保護者に連絡するとともに、年2回（前期・後期）の『家庭への協力お願いシート』の配付を継続し、家庭とも連携して指導に取り組んでいる。エピソード通信を通じて、園での様子を適宜伝えている。
1-9	保幼小連携を意識し、小学校の教育内容について理解しようとしているか	B	保幼小連携を意識して、教員研修を実施し、年長の10月以降には小学校の生活を意識した活動を取り入れ、スムーズな接続ができるように配慮している。2月には小学校見学にも行っている。
1-10	指導計画の評価を定期的に行い、その結果・反省に基づいて指導計画の見直しを行っているか	A	毎月指導計画の反省を行い、その結果・反省に基づいて指導計画の見直しを行っている。
<b>2. 保健管理</b>			
2-1	登園時の視診などの日常の健康観察や、家庭との連携、疾病予防への取り組み、健康診断が行われているか	A	園児一人ひとりの心身の健康状況を常に意識するとともに、手洗い・うがい・マスクの着用の励行による新型コロナやインフルエンザの予防、歯磨き励行による虫歯予防などを指導している。身体測定、校医による内科健診、歯科健診などを適切に行っている。
2-2	地域の保険・医療機関等と連携して、保健指導が行われているか	B	校医、歯科医、保健所等からの連絡・通達事項を適宜各家庭にお知らせして、健康に関する注意喚起をしている。引き続き、連携強化に取り組む。

3. 安全管理			
3-1	安全計画・防災計画が適切に作成・実施できているか	B	防災訓練は毎年確実に実施しており、今年も各回の火災発生箇所を変え、避難経路を変更して実施するなど、対応能力をより高めるよう工夫して実施した。
3-2	危機管理マニュアルなどが適切に作成・活用されているか	B	個々の事案については管理者に判断を仰いで運営できている。バス置き去り防止に向け、再度危機管理マニュアルを見直し、改訂し、確実に実行できるよう、周知徹底を図った。
3-3	事故等の緊急事態発生時には園長に報告し、保護者連絡などの対応が万全に行われるように整備しているか	B	一般的な事故発生に対しては、発見者・担任から園長まで確実な連絡と迅速な対応ができる体制を確立できているが、大規模な災害発生時の対応について訓練等が必要である。また、法人として、BCP 対応にも力を入れている。
3-4	遊具の安全管理の実施や安全対応能力の向上への取組が適切に行われているか	B	遊具の安全点検は、日々の活動の中で確実にチェックしている。2020 年度に改訂した安全点検計画と安全点検表にて、安全対応に取り組んでいる。
3-5	地域の関係機関、団体と連携し、安全に関する情報が家庭にも届くように整備されているか	B	瀬戸市や愛知県からの不審者情報を確認し、緊急必要な情報は、保護者用連絡アプリとメールを通じて、保護者に対して確実に伝えられるよう整備している。
4. 特別支援教育			
4-1	特別支援機関などとの連携は取れているか	A	保育指導上懸念のある園児については事前に保護者と話し合い、状況の共有を図るとともに、特別支援機関の巡回指導等により助言・指導を頂いている。
4-2	家庭との連携は充分に取れているか	A	子どもの様子については、れんらく帳や電話、新たに導入したコドモンを活用して連絡を密にしている。個人懇談等を通じて、幼稚園や家庭で気になることを保護者と情報共有し、指導に活かしている。
5. 組織運営			
5-1	業務分担が適切に機能し、園全体として明確な運営・責任体制が整備できているか	B	園長、副園長、教務主任、学年主任、各担任の役割、担当業務を明確にするとともに、園全体としても明確な運営・責任体制が整備できている。
5-2	職員会議やミーティングは適切に運営されているか	B	毎日のミーティング、月例の職員会議により、方針の徹底と情報の共有をはかっている。
5-3	財務運営は適切に実施され、適切に情報公開されているか	A	毎年定期的に財務監査を実施しており、財務諸表を幼稚園のホームページに掲載している。
5-4	勤務時間管理、サービス監督が適切に行われているか	A	Time Pro により、適切に管理監督しているが、時間外勤務縮小の意識を高めていきたい。
5-5	各種文書や個人情報等の情報が確実に管理されるとともに、情報の取扱い方針が周知徹底されているか	A	河合塾グループの「個人情報保護方針」に従い、着実に実施している。個人情報保護に関する研修も確実に実施し、徹底をはかっている。
6. 研修（資質向上への取組）			
6-1	園内研修が企画、実施され、日々の保育に活かせる内容の他に、社会人としての資質向上に役立つ面も整備されているか	A	教員相互による研究保育や思考訓練（SI あそび）指導方法の研究などを行っている。情報セキュリティ研修や法改正情報の共有などの社会人・組織人として必要な内容の研修も実施している。
6-2	園として園外研修へ参加する機会を確保し、資質向上に取り組んでいるか	B	幼稚園連盟主催の研修会や関連団体の実務研修に積極的に参加し、研鑽している。コロナ禍の為、救急救命講習やアレルギー対応研修が中止となり残念である。
6-3	教員が幼稚園教諭としての専門性だけでなく、自らを高めるための学習に取り組んでいるか	B	幼児や教育に関する情報冊子を購読するなど、最新の情報にも興味をもち、自らの専門性を高めることに取り組んでいる。

<b>7. 教育目標・学校評価</b>			
7-1	自己評価が毎年実施され、園運営の改善に活用されているか	B	2012年度から学校評価（自己評価）を毎年実施しており、毎年園運営の改善に活用している。
7-2	保護者の意見や要望、満足度などの状況を把握しているか	A	毎年度末には保護者アンケートを実施し、満足度や要望・意見を把握し、園運営の改善に役立てている。
7-3	学校評価の結果を外部に公表しているか	A	学校評価は、PDF データファイルにしてホームページに掲載し、外部に公表している
7-4	幼稚園関係者評価が実施されているか	D	今年度も実施はなかったが、小学校、地域の自治会の方との連携を深め、実施の準備を進めていく。
<b>8. 情報提供</b>			
8-1	連絡帳、電話、園だより、ホームページなどを通じて子どもや幼稚園に関するさまざまな情報が保護者に適宜提供できているか	A	日々のれんらく帳でのやりとり、電話、園だよりや学年だより、クラスだより等を配付するとともに、ホームページの園児専用サイトや今年度導入したコドモンにて日々のエピソード通信を発信するなど、情報提供を行っている。
8-2	一般の方にも情報提供を行い、幼稚園情報を周知することに努めているか	A	ホームページを活用し、幼稚園の教育方針や保育内容、行事の様子などを掲載し、情報をタイムリーに提供し、訴求力の強化をはかっている。
<b>9. 保護者・地域住民との連携</b>			
9-1	保護者は幼稚園運営へ積極的に参加し協力しているか	A	幼稚園の各種行事や保育参観には、ほぼ全員が参加して頂いており、保護者の会委員には、各種行事の運営にも協力を頂いている。
9-2	保育参観や個別懇談などを通じて、保育についての内容や情報を提供しているか	A	保育参観や、S I あそび、保育英語、スイミングなどの見学会、年2回の個別懇談など、保育の状況、子どもの成長を確認していただく機会を作っている。
9-3	幼稚園に対する保護者の意見や要望などが聞き入れやすい環境が整備されているか	A	保護者の会の活動や個人懇談などを通じて、幼稚園に対する意見・要望を聞くとともに、保護者アンケートを実施し、保護者の要望に真摯に耳を傾けている。
9-4	地域の文化や、伝統行事などの教育資源を有効に活用しているか	A	地域の伝統産業である瀬戸焼きで、子どもたちが保護者に贈り物を作ってプレゼントするなど、地域資源の活用に取り組んでいる。。
9-5	地域の人とふれ合う機会を設けているか	B	新型コロナの影響で、今年度も餅つきに近隣のお年寄りの方をご招待できなかったが、園庭開放や職場見学は実施している。
<b>10. 子育て支援</b>			
10-1	未就園児に対する子育て支援のための取り組みを行っているか	B	未就園児のための幼稚園プレ教室“なかよし教室”を設置し、子育て支援を進めている。保護者の方の交流の場ともなっている
10-2	預かり保育（延長保育）の運営体制を整えているか	A	当園の教員と幼稚園教諭の資格を持つ兼任講師を配置して、運営体制を整えている。預かり時間の拡大、長期休み中の預かり保育の実施等、可能な範囲で充実をはかっている。
10-3	関連機関と連携して子育て支援に取り組んでいるか	B	瀬戸市のこども家庭課や発達支援室、河合塾内の幼児教育部門とも連携して保育を進めている。
<b>11. 教育環境整備</b>			
11-1	施設・設備の安全・維持管理のための点検・整備は適切に行われているか	A	新園舎に移転し、また、園舎の耐震化は対応済みで、日常的な維持管理・点検も着実に実施している。よりよい保育環境の提供ができています。
11-2	遊具・用具・図書の整備は適切に行われているか	A	新園舎移転に伴い、遊具・用具・図書などは、子どもたちの発育や指導を考慮し、各学年の要望も踏まえ計画的に整備している。

#### 4. 総合的な自己評価（結果）

結 果	理 由
B	新園舎への移転により、教職員、園児のモチベーションも高まり、園舎に負けない教育内容の実践に向け、より意欲的に保育・教育に取り組んでいる。園全体としての改善は着実に進んでいると言えることから、「達成されている」という自己評価とした。

#### 5. 今後取り組むべき課題

「2022年度に向け定めた重点的に取り組む具体的な目標」である、『SI あそび』の教材達成率のアップ、『ご家庭への協力お願いシート』の定着、『優しいことば掛け、考えることば掛け、褒めて育てる教育』の実践、1年生に向けての『接続カリキュラム』のノウハウ構築、『指導力向上・教育の質的向上・保育者としてのスキル向上』を、常に意識して活動に取り組むことができた。2023年度も、これらの目標を継続し、精度を高め、レベルアップするとともに、更なる成果を出していきたいと考える。

- 1) 知能教育『SI あそび』について、導入教材、発展教材のさらなる充実をはかるとともに、真貴幼稚園独自の指導ノウハウを蓄積・共有し、教材達成率をアップする。
- 2) 保護者にも浸透し、定着した『ご家庭への協力お願いシート』を活用することで、基本的な生活習慣・学習習慣の確立に取り組む。さらに保護者対象の講演会や情報提供を通じて、協力体制強化をはかる。
- 3) 優しいことば掛け、考えることば掛け、褒めて育てる教育を実践しつつ、そのノウハウや情報を蓄積・共有することで、優しい心とコミュニケーション能力の育成指導を確立する。
- 4) 就学前教育についての必要性とその背景等について、全教員が理解を深め、各学年における指導にも活かし、子どもたちが自信をもって就学できる指導指導を実践する。
- 5) 園内外の保育研修を活用できるように年間の研修計画を整え、引き続き、指導力向上、教育の質的向上に取り組む。また、防災・防犯・緊急時対応・アレルギー対応等、園児の安全面に関わる研修などにも参加し、保育者としてのスキルを高める。
- 6) 保護者アンケートや、保護者との連絡アプリ「コドモン」を通して、保護者の要望・意見に真摯に耳を傾け、改善すべき所は改善し、更なる満足度の向上を図っていく。

#### 3. 4の評価結果の表示方法

A	十分達成されている。
B	達成されている。
C	取り組まれているが、成果が十分でない。
D	取り組みが不十分である。